

## 交換留学帰国報告書

記入 | 2024 年 9 月  
所属 & 学年 | 人文学研究科博士前期課程 2 年  
卒業予定 | 2025 年 3 月

留学先大学	国立台湾大学
留学先国	台湾
留学期間	約 11 ヶ月 (修士 2 年次に留学)
留学開始 - 終了	2023 年 8 月 25 日 - 2024 年 7 月 10 日

## A. 留学に至った経緯や留学準備について

- ① 留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

修士論文で台湾史の分野を扱うことに決めたので、現地で台湾史の教育を受けたいと思い、台湾に交換留学をすることにしました。  
中国語の教育も充実している台湾大学を第一希望にしました。第二希望は台湾史研究所がある政治大学にしました。

- ② 留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

上に同じです。

- ③ 留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
なし		

- ④ 実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

半年ほど前から語学試験の受験、手続きについての下調べをするようになりました。

- ⑤ 海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

交換留学の申し込みを考えた際に、留学先について相談しました。内定後に手続きや大学に提出する作文についてのアドバイスなどをいただきました

## B. 留学前の語学対策や単位などについて

- ① 留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

HSK を 2 回受験しました。(3 級と 5 級)

- ② 単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

授業を取り過ぎず、余裕を持つ方がいいと思います。単位を取るのが難しい授業は聴講生として出席してみてもいいと思います。

### C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG 2022 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

<p>前期</p> <p>Hist 4037 台湾近代史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 時間</li> <li>・ 講義形式</li> <li>・ 論文要約 (6 本分), レポート (中間テストの期間), 映画の感想レポートなどの課題がありました。期末は筆記試験があります。</li> </ul> <p>PTCSL 7908 国際生華語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝 8:10-10:00, 週 3 回 (月・水・金)</li> <li>・ 口頭試験・筆記試験・プレゼンテーション</li> <li>・ 上記の他に毎週ディクテーションの小テストがありました。</li> </ul> <p>PTCSL 7910 国際生実用華語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝 8:10-10:00, 週 2 回 (火・木)</li> <li>・ 口頭試験・筆記試験・プレゼンテーション</li> </ul> <p>PTCSL 7915 初級台湾語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 時間</li> <li>・ 口頭試験・筆記試験</li> </ul> <p>以上の他に, 歴史学系の「台湾史」を聴講していました。</p> <p>後期</p> <p>Hist 7155 台湾総督府檔案選読</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本統治時代の行政文書を読む授業です。毎回担当箇所を決め, 翻刻・中国語訳・注釈をつけたレジユメを作ってきて授業で読み上げます。少人数だったのでほとんど毎回担当がありました。</li> </ul> <p>PTCSL 7909 国際生華語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝 8:10-10:00, 週 3 回 (月・水・金)</li> </ul> <p>PTCSL 7923 進階級台湾語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前期の続きです。台湾語で発表するプレゼンテーションが 2 回ほどありました。期末は口頭試験・筆記試験がありました。</li> </ul> <p>以上の他に, 台湾師範大学の授業を聴講していました。</p> <p>* 台湾大学の授業は 1 時間で 1 コマです。多くの授業は 2 コマで, 間に休憩があります。(休憩を取らない先生もいます。)</p> <p>* テスト期間は期中考と期末考の 2 回あります。</p>
--

②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

<p>つまずいた所があれば先生や周りの学生に聞くようにしていました。</p> <p>また, 知らないことはその都度自分で調べるようにしていました。</p>
---

## ③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

論文要約や感想文、レポートの提出を求められる授業があったのですが、自分の語学力では難しいと感じたので、言語ボランティアの学生にネイティブチェックをしてもらいました。台湾大学では言語ボランティアの制度があるので、ぜひ申請すると思います。

## D. 大学生活について教えてください。

## ①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

椰子の木やガジュマルが茂る開放的なキャンパスで、リスが住み着いていて癒やされます。学生は勉強熱心で、平日の図書館はほとんどの席が埋まっているし、自習スペースも課題に取り組む学生でいっぱいでした。一方で、クラブ活動やスポーツを楽しんだり、友人との交流を楽しんだりする様子も見られ、朗らかな印象を受けました。授業では、学生と先生が対等に議論していたことが印象に残っています。院生向けの授業ということもあったのですが、先生は学生だからといって見くびらないし、学生側も対等に話し合えるだけの相応の知識がある、というような印象を受けました。また、キャンパス内でプライドパレードを目にしたのも印象的でした。社会問題や政治に関心を持つ学生も多いようです。

## ②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

ネット環境：大学内は Wi-Fi が完備されており、インターネットに不便を感じたことはありませんでした。  
施設：図書館は蔵書が多く、必要な本や文献がほとんど揃っていました。ジムとプールは回数券を買って安く利用できるからお勧めです。  
周辺環境：大学周辺は飲食店や書店、生活用品店、衣料品店などが豊富で、必要なものは何でも揃います。小さな夜市もあり、学校帰りによく立ち寄っていました。

## ③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

中国語はまだうまく話せないのですが、遠慮せずに交流するようにしていました。ボディランゲージを使ったり、わからない言葉はその都度 Google 翻訳などで調べたりして、なんとか意思疎通できるようにしていました。また、台湾の学生も留学生もシャイな人の方が多いので、仲良くなりたいたい人がいれば自分から積極的に話しかけるといいと思いました。

## ④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

授業後は街を散策してみたり、友人とご飯を食べに行ったり、夜市に行ったりしました。週末は時間があれば遠出をしたりしました。冬の長期休暇は1週間かけて台北から南端の屏東まで旅をしました。治安が良く市街地は交通も便利なので、一人で気軽に出かけることができ楽しいです。

## E. 健康管理、保険、予防接種など

## ①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

食費を節約しすぎず、栄養のあるものを食べるように気を付けていました。また、台湾の水道水は飲んではいけないので、必ず飲用水機やペットボトルの水を飲むようにしていました。その他には、疲れや不調を感じたらすぐ休むようにしていました。

- ②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

なし

- ③留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。

はい（種類：）

いいえ

## F.住居、食事、マナーなどについて

- ①留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
何人部屋	（ 4 ）人

- ②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

渡航後最初に苦戦したのは、ARC（外僑居留證）の申請でした。渡航前から下調べをしていたのですが、新しい情報が少なく困っていました。渡航後に現地の日本人留学生からオンライン申請の仕方を教えてもらい、なんとか手続きを終えることができました。申請時に奨学金の受給証明書が必要なので、渡航前に取得しておくといいと思います。

ARC 申請の web サイト：[雲端線上申辦 \(immigration.gov.tw\)](https://coa.immigration.gov.tw)  
 [\(https://coa.immigration.gov.tw/coa-frontend/student/entry\)](https://coa.immigration.gov.tw/coa-frontend/student/entry)

安全面では、バイクやスクーターが多いので、道を歩く際は日本にいる時以上に気を付けていました。監視カメラがいたるところにあるせいか治安は比較的良いですが、油断は禁物です。

寮生活では、ルームメイトに干渉しすぎないように気を付けていました。最初は仲良くしなければ、というプレッシャーがあったのですが、性格も生活リズムも異なる様々な学生と暮らす事になるので、無理に距離を詰める必要はないと思うようになりました。ただ、挨拶やお礼はちゃんとするように心がけていました。

その他には、夏は湿気がひどくクローゼットや引き出しの中にすぐカビが生えてしまうので、こまめに掃除したり防潮剤を入れたりして対策していました。

- ③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

薬やスキンケア用品は使い慣れたものを持って行くといいと思います。台湾でも日本製ものは売っていますが、少し高いです。（特に目薬はとても高いです）

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

ARC 申請

[雲端線上申辦 \(immigration.gov.tw\)](https://coa.immigration.gov.tw)

[\(https://coa.immigration.gov.tw/coa-frontend/student/entry\)](https://coa.immigration.gov.tw/coa-frontend/student/entry)

ビザ申請方法

[居留査証 Resident Visa \[滞在 180 日以上・・・雇用\(赴任\)・正規留学・家族呼...・台北駐大阪経済文化弁事処 Taipei Economic and Cultural Office in Osaka \(roc-taiwan.org\)\]](https://www.roc-taiwan.org/)

台湾大学交換留学についてのページ

[國立臺灣大學 國際事務處 簡介 \(ntu.edu.tw\)](https://oia.ntu.edu.tw/internationalstudents/exchange/overview)

<https://oia.ntu.edu.tw/internationalstudents/exchange/overview>

## G. 留学費用について

① 留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

生活費は月に一度デビットカードで2万円を引き出して、余った分は繰越すという使い方をしていました。また、銀行のアプリを定期的に見て残高をチェックするようにしていました。無駄遣いするのは良くないですが、過度な節約は心身ともに不健康になるので、ある程度は楽しみにお金を使ってもいいと思いました。

② 奨学金は受給していましたか。

はい (奨学金名: JASSO 奨学金 支給額: 月6万円)

いいえ

③ 差し支えない範囲で留学費用を教えてください。\*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	約7万円(往復)	名大の渡航支援を受けることができたので実質無料になりました。ただ、変更手数料(1万5千円ほど)は自費でした。
保険代	約13万円	歯の治療費も入っているプランにしました。
健康診断代	約2万円	トラベル外来のある藤が丘オーキッドファミリークリニックで受診しました。ビザ用と台湾大学用の二種類の申請書を作る必要があったのですが、まとめて対応していただけました。受診の際に、母子手帳などワクチン接種履歴がわかるものが必要でした。
ビザ代 (居留査証, シングル)	約1万円 +大阪までの交通費	愛知県に住民票を置いている人は大阪の台北駐大阪経済文化弁事処まで申請をしに行く必要があります。(郵送申請はできません) 交換留学の場合は「居留査証」を申請する必要があります。申請の際に戸籍謄本, 入学許可書, 健康診断書, 名大の在学証明書などが必要になるので早めに準備をしておくで安心です。 ちなみに銀行の残高証明書は不要でした。 5頁にURLを貼ったので見てみてください。
住居費	約9万円/半年	大学から少し離れた MRT 南勢角駅付近の寮でした。この寮が最も低価格です。 大学付近の寮は少し高いですが、一人部屋か二人部屋から選べます。
食費	4~5万円/月	寮にキッチンが無く三食すべて外

		食だったので、支出は多くなりました。台湾の飲食店は一食 500 円前後でしたが、おしゃれなカフェやレストランは日本と同じくらいの値段でした。
教科書代	約 4000 円/1 冊	『視聴華語』という教科書を使っていました。大学内の外国語センターで買うと少し安くなります。タブレット用の電子書籍を使っている人もいました。
定期代	約 6000 円/月	一ヶ月 1200 円で台北市内と周辺地域の MRT (地下鉄のようなもの。捷運とも言う。), 鉄道, バスが乗り放題になる TPASS というものを使っていました。 交通費を気にせずいつでも気軽に出かけられるので便利です。

#### H. 今後の進路や目標、就職活動について

①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

- 進学  
 就職  
 その他（ ）

②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対する考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

留学してみて、台湾史の研究環境が充実していることに魅力を感じ、今後は進学または長期研究で台湾へ行って研究したいと思うようになりました。  
卒業後はすぐに進学するか、しばらく働いてから進学するか決めかねていますが、いずれにしてもまた台湾で研究ができるように努力したいと思います。

③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

#### I. 留学を終えて感じること

①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

台湾では多くの人にお世話になり、本当に感謝しています。  
大学では試験前にノートを見せてくれたり、先生と話すときに困っていると日本語のできる子が手伝ってくれたり、様々な場面で助けられました。  
また、遠出をした際に帰り道に困っていると、見ず知らずの方が家まで送ってくれたこともありました。振り返ってみると心が温まる出来事が多く、何らかの形で恩返しをしたいかなと思います。  
学業の面で一番大きな出来事は、2024 年 5 月に研究発表をしたことです。発表内容は不十分な部分も多かったのですが、準備のプロセスなど研究に関して重要なことを学び、何より自信につながりました。

その他に、2024年1月の総統選に立ち会うことができたのは貴重な経験でした。台湾の選挙活動は熱狂的な盛り上がりで、選挙の日が近づくと各地で決起集会が行われます。台湾の先生や学生とともに投票日前日の集会を見に行ったのですが、前が見えないほど多くの人が集まり、まるでライブのような盛り上がりでした。多くの人が政治を自分事として捉えているのを肌で実感しました。

②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか。

性格が変わりました。  
渡航する前に比べて良くも悪くも凶々しくなったと思います。台湾で出会った友人や先生、先輩はみんな快活で、自分の意見は立場に関係なく率直に言うし、困っているときは頼るけれど、私が困ったときは助けてくれました。そんな周りの人達の影響を受けたのか、いい意味で遠慮をしなくなったと思います。  
また、居場所は日本だけではないと思うようになり気が楽になりました。  
一方で、日本の生活の良さを見直すようになりました。日本に帰ってきて街を歩いてみると、交通マナーを守る人が多く、空気がきれいなことに改めて気づきました。また、静かで落ち着いた場所が多いのも魅力に感じるようになりました。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

少しでも興味があったらまず調べるところから始めてみるといいです。  
大学のプログラム以外にも奨学金はたくさんありますし、意外とお金は何とかなります。  
自分で制限をかけず、ぜひチャレンジしてみてください。

◆自由記述欄◆







以上